

女ともだち (1956)

LE AMICHE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イタリア

色彩 B&W

時間 104分

初公開日 1964/01/25

公開情報 東和

【解説】

“愛の不毛”が専売特許のアントニオーニの長篇三作目。彼の作品にしては主要登場人物が多く、年代のせいもあってごく通俗的な仕上がりだが、やはり、描かれる恋愛に関して距離を置く虚無的な感じが濃厚で、従ってどっちつかずの印象を与えるのが難。1952年、トリノでの話。当地に出店したローマの洋装店の支配人クレリアは開店準備に忙しいが、住まいとしているホテルの部屋の隣室の娘ロゼッタが自殺未遂をしたことから、彼女の間人関係に深く立ち入っていく。ロゼッタは肖像画を描いてもらった縁で親しくなった画家のロレンツォを愛していたが、彼にはネネという、やはり将来を囑望された画家の恋人があり、その苦悩が自殺の原因ともなった。この件の真相解明に興味を持つモナミはチェザレとつきあっていたが、彼はどこか浮気性で困らせられた。一方、クレリアは店舗工事の責任者カルロと深い仲になりつつあったが……。映画は純粋なロゼッタの心情を視座に据え、錯綜する人間関係を淡々と捉える。ただ、もっと割り切ったメロドラマ調の方が、この設定の場合は良かっただろう。

【クレジット】

監督	ミケランジェロ・アントニオーニ	Michelangelo Antonioni
脚本	スーゾ・チェッキ・ダミーコ	Suso Cecchi d'Amico
	アルバ・デ・セスペデス	Alba De Cespedes
撮影	ジャンニ・ディ・ヴェナンツォ	Gianni Di Venanzo
音楽	ジョヴァンニ・フスコ	Giovanni Fusco
出演	エレオノラ・ロッシ・ドラゴ	Eleonora Rossi Drago
	イヴォンヌ・フルノー	Yvonne Furneaux
	ヴァレンティナ・コルテーゼ	Valentina Cortese
	マドレーヌ・フィッシャー	Madeleine Fischer
	ガブリエル・フェルゼッティ	Gabriele Ferzetti
	フランコ・ファブリッツィ	Franco Fabrizi